



（発行所）  
 青山同窓会  
 〒951 新潟市関屋下川原町2-635  
 新潟県立新潟高等学校内  
 TEL 025-266-5268  
 FAX 025-266-5268  
 （編集、発行人）  
 上村光司  
 （印刷所）  
 オリオン印刷 ㈱  
 〒950 新潟市南出来島1-19-1  
 TEL 025-283-2151  
 FAX 025-283-3804

ごあいさつ

青山同窓会会長

37回 鈴木正二



明けましておめでとうござ  
 います。同窓の皆さんにとっ  
 て今年はずいぶん年であって  
 ほしいものと心から願ってお  
 ります。

昨年は、母校の改築問題に  
 つき、移転新築などの案も検  
 討され、いろいろご心配をお  
 かけ致しましたが、皆様のい  
 ろいろな思い出の残るこの青  
 山の地においての改築の線で、  
 県の方針が決定致しました。  
 ほっとしているところであり  
 ます。今後とも、母校の発展、

同窓会の発展にお力を貸して  
 いただきましたものと、願って  
 おります。

数年来の不況、少し回復の  
 兆しが見えて来たようですが、  
 いかがお感じでしょうか。夏  
 の総会には、多くの同窓諸兄

姉が元気なお顔でお集まりく  
 ださるようお待ちしております  
 ず。常日頃の各期幹事さんの  
 ご努力、ご奉仕に感謝し、景  
 気の回復と、会員各位のご健  
 康、ご発展を願っております。

## 平成六年度 青山同窓会総会

昨年七月十五日（金）午後  
 六時より、ホテル新潟におい  
 て、総会が開催されました。  
 司会の赤羽幹事長のもと、  
 鈴木会長の挨拶、瀧澤校長の  
 挨拶と続き、会長が議長とな  
 り、議事に入りました。（イ）

算及び監査報告について（ハ）  
 平成六年度予算について（ニ）  
 それぞれ提案され、拍手のう  
 ちに承認されました。  
 順調に進んだ総会の後は引  
 き続き懇親会に入り、今年三  
 年目、最後のお勤めの敦井栄  
 一総会実行委員長の司会で始

まりました。例年の次第どお  
 り、会長、来賓の挨拶の後、  
 綺麗どころの祝舞、旧校歌、  
 新校歌の斉唱と続き、出席最  
 長老の乾杯の音頭で開宴とな  
 りました。応援歌合唱、万歳  
 三唱まで、それぞれのテーブ  
 ルでにぎやかな交歓談話が繰  
 り広げられました。

## 東京青山同窓会総会開かれる

東京青山同窓会事務局長  
 53回 佐藤良策

平成6年12月2日（金）、  
 東京青山同窓会総会が大手町  
 サンケイホールにて開催され  
 た。

斉藤伸雄会長（44回）、斉  
 藤英四郎名誉会長（36回）の  
 挨拶のあと、会務報告がなさ  
 れ、続く懇親会では来賓とし

て新潟から参加した鈴木正二  
 青山同窓会会長（37回）、滝  
 沢強一新潟高等学校校長、そ  
 して長谷川義明新潟市長がそ  
 れぞれ挨拶をされた。

今回は、今年母校を卒業し  
 たばかりの百二回生を中心に  
 若年会員の出席が目についた。



〈総会挨拶要旨〉  
 見届けたい  
 三つのターゲット  
 名誉会長  
 36回 斉藤英四郎

平成6年11月22日、私は満  
 83歳の誕生日を迎えたが、お  
 蔭様で毎日忙しい中にも健  
 やかに送っている。晴耕雨続  
 の日々を過ごしてもよい年次  
 だが、近年は長寿社会が実現  
 し、中には「生涯現役」を唱  
 える猛者も珍しくない。私も  
 意を強くし、二百に余る役職  
 のうちの三つの事業にシぼっ  
 て、完成を念願している。

一つは東京湾横断道路とい  
 う大プロジェクトである。こ  
 れは新日鉄の合併以前から係  
 わってきたものであり、現在  
 三割強の進捗を見ている。

二つめは、日仏友好モニユ  
 メントである。約百年前、米  
 仏両国は二十世紀を「自由の  
 世紀」と想定し、友好の証と  
 してニューヨーク湾に自由の  
 （2面につづく）



平成6年 東京青山同窓会総会

女神を建設した。今度は日本とフランスが二十一世紀に不可欠とされる「交流—コミュニケーション」の象徴となるモニュメントの実現を目指すというわけだ。日・仏・アジアとヨーロッパ、さらには全世界への架け橋をイメージするもので、明石海峡大橋を予定地としている。

第三は長野冬季オリンピックである。私は会長として古

# いあいそ

## 新潟市長 61 回 長谷川義明

青山同窓会のみなさん、新年明けましておめでとうございます。今年も皆様方にとって健康に恵まれ、お慶びの多い年となりますよう御祈念申し上げます。

青山同窓生の皆様が地域のなかで、あるいは国、さらには世界の場で御活躍しておられる様子を拝見し大変心強く思っております。また、御活躍の分野も産業経済から芸術文化、医療、教育、報道など実に多くの分野で、社会のリーダーとして貢献しておられる

橋広之進、堤義明両副会長共々組織委員会が支障なく運営され、開会にこぎつけられるよう、心を砕いている。

これらの大事業は、奇しくもすべて一九九八年に完結するものばかりである。その頃、私は昔流の数え年でいえば八十八か八十九になるはずであるが、それまでは頑張りぬき三つの大事業の完成を見極めたいと念願している。

◎長引いている不景気とは言うえ、日本も本当に物質的に豊かな住みやすい国になったとつくづく思う。贅沢を言わなければ、ある程度の衣食住は満足の範囲内にあるのではなからうか。借金をしながらも若い内に家を建てることができるし、衣食も好みにより多様なものを手に入れ楽しめるようになった。車も一家に複数台あるケースはざらであり、家族で年の暮れ、正月など豪華に海外旅行と洒落こんだり、まさに隔世の感が強い。

◎そういえば昭和二十年代、子供であった頃の生活を頭をよぎる。終戦後の貧困の中、おまけに多くの子供を抱えながら必死に生き抜いた、そういう時代であった。兄弟姉妹がいれば、それぞれ着るものはお下がり、下の子は新調の服は買ってもらえなかった。また、ズボンの膝に穴が空けば、つぎ当てをして、穿けなくなるまで穿いたものだった。今時のジーンズの膝穴のファッション感覚から程遠いものであった。たんぱく源は主としてホッケ、鯨、ぬかいわし等、

うさぎのようなものまで食した。主食は、玄米あるいは七分づき米と麦の混ぜ飯であった。多分どの家でも、母親は自分の口に入れるものを減らしてでも子供の口に入れてやっていたらう、そんな時代であった。

◎昭和三十年代後半になると、時の池田首相が所得倍増論を唱え、欧米先進国の生活水準に「追いつき追い越せ」を合い言葉に、日本人はがむしやらに働き高度成長への道をたどることになった。魅力ある経済政策だった。企業戦士という言葉が生まれた所以である。特に、東京オリンピック開催が経済成長に一層拍車をかけるきつかけとなり、日本が少しずつ先進国と経済競争ができるようになり、うれしく思った記憶がある。

◎その後連邦崩壊により東西冷戦関係に終止符を打ち、日本にあっては、果てしない円高行進に悩まされている。また昨年一年間で、首相に細

川、羽田、村山の三氏が就任した。特に村山首相にあっては、社会党と自民党とのこれまでの頑なな対立関係の枠を取払った連立政権であり、国民が不安と驚きを抱いたのも記憶に新しい。

◎昔に比べれば生活が豊かになり長生きして本当によかったと思う年輩の人が多い。しかし相変わらずの円高傾向、レールのない暗模索の政治など日本は混迷の時代の中にあると言っている。政治、経済において絶対的に予測できるものがない現在、パラダイムシフト(思考枠の変更)の時代であるとする者は言う。ライバルを意識した自由競争の時代は、協調の時代であるのだと言っている。そしてこの多様な価値観のある舞台でフットライトを浴びていくのは他でもない、一人一人の市民であるのだとも言っている。

◎NHKの「新春トーク」なるテレビ番組を視聴した。番組の中で次の話がなされた。「豊かな日本はどこへ行く。その方向感覚を失いかけていく。これからは自由競争の倫理を超えて、集団の倫理を超えて、個人それぞれがアイデンティティ(独自性)をしっかりと持つ必要がある。」

◎どちらかと言うと、集団意識の強い日本人は、流れの中に身を任せながら努力して来た。しかしその流れがなくなると、各自が自らの手で何らかの流れを創り出さねばならない試練の淵に立たされていると言っている。個人レベルのアイデンティティが、社会や国、ひいては世界を支える時代に入ったと言えらる。そして世界中の人々が共存共栄して行くためには、さまざまな主義主張や文化に敵対するのではなく、お互いに補完し合う姿勢が同時に必要なのだろう。これからは、「独自性と協調性」、二律背反のように思えるこの二つを融合しながら進んで行くことが二十一世紀を直前にして私たちに課せられているのではなからうか。

### 年頭随想

## 自主性と協調性

校内幹事 69回 柝倉 浩

川、羽田、村山の三氏が就任した。特に村山首相にあっては、社会党と自民党とのこれまでの頑なな対立関係の枠を取払った連立政権であり、国民が不安と驚きを抱いたのも記憶に新しい。

◎昔に比べれば生活が豊かになり長生きして本当によかったと思う年輩の人が多い。しかし相変わらずの円高傾向、レールのない暗模索の政治など日本は混迷の時代の中にあると言っている。政治、経済において絶対的に予測できるものがない現在、パラダイムシフト(思考枠の変更)の時代であるとする者は言う。ライバルを意識した自由競争の時代は、協調の時代であるのだと言っている。そしてこの多様な価値観のある舞台でフットライトを浴びていくのは他でもない、一人一人の市民であるのだとも言っている。

◎NHKの「新春トーク」なるテレビ番組を視聴した。番組の中で次の話がなされた。「豊かな日本はどこへ行く。その方向感覚を失いかけていく。これからは自由競争の倫理を超えて、集団の倫理を超えて、個人それぞれがアイデンティティ(独自性)をしっかりと持つ必要がある。」

◎どちらかと言うと、集団意識の強い日本人は、流れの中に身を任せながら努力して来た。しかしその流れがなくなると、各自が自らの手で何らかの流れを創り出さねばならない試練の淵に立たされていると言っている。個人レベルのアイデンティティが、社会や国、ひいては世界を支える時代に入ったと言えらる。そして世界中の人々が共存共栄して行くためには、さまざまな主義主張や文化に敵対するのではなく、お互いに補完し合う姿勢が同時に必要なのだろう。これからは、「独自性と協調性」、二律背反のように思えるこの二つを融合しながら進んで行くことが二十一世紀を直前にして私たちに課せられているのではなからうか。

利用して更に諸機能が大きく  
発展し展開されることを期待  
しております。

昨年十一月の新潟市長選  
挙におきまして幸い多くの市  
民の皆様御支援を戴いて再  
選を果たすことができました。

これからの新潟には福祉、  
文化、環境の整備が大切だと  
思います。なかでも文化の育  
成振興は、風土に合った個性  
豊かな文化を生みだすまでに

長い時間と大勢の参加が必要  
とされることでしょうか。しか  
し、文化の薫りのするまちに  
は、住んでいることに誇りと  
豊かさがあるように思います。

国際的交流のなかにおける新  
潟らしさを確立しつつも、高  
い文化活動が新潟で展開され  
ることを期待したいと思いま  
すし、まちのそここに心の

奥床しい人々の住んでいるこ  
とを感じさせるまちにしてい  
きたいものだと念願しており  
ます。

高齢化社会を迎えて、高齢  
者が元気で社会参加するシス  
テムづくりとして健康診断の  
充実、高齢者雇用の対策、在  
宅介護のためのヘルパー制度  
の充実などをやっています。

したが、これらのシステムに  
ついては、新潟独自の先進的  
取り組みによって市民が安心  
して人生を送ることができ  
るようにしていきたいと思いま  
す。そうしたとき、新潟の人々  
の持つ地域の連帯、助け合い  
の心は大きな地域の特性だと  
思います。これからの高齢化  
社会には是非ともこの連帯の  
心を育てたいものだと思います。

水の都新潟には、水にかか  
る多くの形容詞が付けられ  
てまいりました。これらの歴  
史的伝統ともなっている水と  
新潟のかかわりも、地盤沈下  
や産業、経済、技術の変化に  
よって大きくその態様が変わ  
ってきております。新しく水の  
都新潟のこれからの姿をつく  
りあげていくことが、今求め  
られていると思います。

なすべきことの多い時であ  
りますが、皆様からお智恵と  
そしてお力添えを戴きながら  
市政の発展に尽くしてまいり  
たいと思っています。どうぞ  
よろしくお願い致します。

青山同窓会の御発展と同窓  
生の皆様の御多幸を願って、  
新年のご挨拶と致します。

### 総会懇親会実行委員長 辞任のことば

69回 敦井栄一

平成六年度の総会懇親会が  
スムーズに進行し、ファイナ  
ルの万才三唄、閉会の辞が終  
った時、委員長としてこれが最  
後と思うと万感の思いが去来  
しました。これで任期が終  
てほっとした安堵感とか、皆  
さんのご期待に添えられただ  
ろうか等々でした。

五年度、六年度の二回につ  
いては、七百名を超える参会  
者を得て盛大に挙行でき、お  
蔭様で赤字を出さなくて済み  
ました。青山同窓会員の皆様  
方の結束の強さを改めて感じ  
させられましたし、新潟高校  
の卒業生で本当によかったと  
しみじみ思いました。

思いかえせば、三年前石田  
瑞穂先輩(67回)から何もわ  
からないまま委員長の役を引  
き受けたのです。役員の方々  
や経験豊かな諸先輩がおられ  
るので実は安心してました。

ところが、ご承知の通りちよ  
うど母校創立百周年の年にあ  
たってしまいました。同窓会の懇

親会と百周年祝賀会と一緒に  
ホテル新潟で行うことになり、  
これは大変なことになったと  
思いました。前に同窓会報に  
も書かせていただきましたが、  
式典後のホテル新潟までの参  
会者の輸送をどうするか、受



### 母校の近況

① 母校現在地で  
校舎改築の運びに

新潟高校校舎改築について  
は、同窓会、PTAならびに  
学校は、激しい校舎老朽化に  
伴い、一刻も早く、改築を  
県に陳情して来しました。改築  
予定地について、思い出深い  
現在地あるいはグラウンドも  
含めてのもっと広い敷地の選  
択肢がありました。『郊外  
地には、教育環境に最適な土  
地が得られない』として、県  
は現在地での高層化改築の線

付での混雑をどうやって解消  
するか、式次第をどうするか  
等々解決しなければならぬ  
案件が山積していました。同  
窓会実行委員会や学校との打  
合せを何回も重ねなんとか成  
功裡に終わらせていただきま  
した。いろいろ大変でしたが、  
逆に貴重な体験をさせていた  
だき感謝しています。

三年の間、役員の方々、各期  
幹事の方々、実行委員の方々、  
で昨年九月十六日までに決定  
しました。現校舎は県内で初  
めての鉄筋コンクリート校舎  
として昭和三十一年に完成し、  
約四十年間にわたり青山健児  
を世に送り出して来ました。  
改築予定につきましては、平  
成七年度に基本設計、八年度  
には実施設計、九年度に改築  
を実施して早ければ十一年度  
生から新校舎に入れる予定で  
すが、先に延びる可能性もあ  
るとのことです。

クラス(一クラス四十一名)、  
理科科一クラス(四十名)の  
編成になる予定です。  
理科科は、普通科と同様に  
全教科を学習しますが、特に  
数学や理科について総合的に  
より深く学習してその資質を  
十分に伸ばすために設置され  
た学科です。普通科、理科科  
相携えて、二百周年に向けて  
新たな輝かしいページを加え  
ることを目指します。

このように時代が移り変わ  
るにつれ母校も変容しつつあ  
りますが、先輩たちが育んで  
来た良きものを残しつつ一歩  
一歩前進して行くべく努力し  
ています。

② 来年度から  
理科科が新設される  
平成七年度から理科科一ク  
ラスが母校に新設されます。  
来年度の入学生は、普通科十

それに学校の先生方から絶大  
なご協力をしていただきました。  
心より感謝致しております。  
私の後任には、敏腕有能な  
70回の藤誠君に決まりました。  
この会をさらに盛会にしてく  
れるものと信じています。こ  
れまで以上に、ご協力ご支援  
を皆様方にお願ひ申し上げ、  
辞任のあいさつとさせていただきます。  
誠にありがとうございます。

(校内幹事 板倉記)

# 悼 元市長、 渡辺浩太郎氏(30回)への想い

34回 齋藤申吾

開発技建株式会社  
代表取締役会長

渡辺浩太郎氏、平成六年の暮れを待たずに逝く。豪快な体軀に似ず、繊細な神経の持主の渡辺さん。死して、今更ながら氏の国際性、特にアジア、就中、ロシアとの交遊の深さをしみじみと市民に語りつづけたと思う。



私は、新潟県都市計画課長の折、当時の新潟市助役の今井、五十嵐(いずれも故人)

兩人の、新潟市の都市づくりのためにとの割愛要請を受け、新潟の火災復興計画樹立後、新潟市入りをした。(昭和三十一年春)。市長は、紳士の村田三郎氏。渡辺さんは、議長であった。

私は、先ず市の優秀な人材を集めて、都市計画課をつくり、新潟総合計画案を樹立し、

新しい新潟東港の新規立案(堀込港湾)を織り込んだ。(五十嵐助役の提案)

昭和二十六年頃より始まった新潟中心地域の地盤沈下、海岸欠壊の兆候が、顕在化し始め、この原因究明から対策

つくりへの時期であり、昭和三十三年より、地盤沈下の最高沈降期、市内慢水騒ぎの反覆期となり、地下対策として汚濁沈滞水路の埋立、流末メ

切、多くのポンプ排水機場の設置、海岸、港湾施設の高上

等、対策、復興のための国との対応、地方対策は、土木部長の私に任された。そして、昭和三十四年春、渡辺市長が誕生する。災害対策と併せて、

政財界の押さえ処をギッチリと握り、外部との高度折衝、政界の段取りをちゃんとやってくれた。と同時に、国際交流の先駆となり、アメリカ各州歴訪、ガルベストンとの提携を始め、キビスを返して、アジアに挑み、一般吏員も足踏みする中、極寒のアジア、特にソ連に率先、切り込み、友好の輪を駆け、ハバロフスク、モスコウ等に顔売りを、新潟市の秘書課に国際化的な人員配置をしていた。この辺あたり慶大相撲部の闘將を思わせた。

一方、市長の国内的嗜好は、なんとしても港湾であり、港湾総会、港湾都市協議会等によくお供させられた。惜しむらくは、演説は余り上手でなかった。それでいて部下の書いた祝辞等は、余り見たがらずにわきにおき、かえって下手な演説で、部下をひやりとさせることも再々であった。よく「齋藤君、飯を喰う」と誘われて、料亭に案内されたが、「市長、貴方は、酒を呑まないで、気に喰わない」と、私もグチすることもあった。私は、三十九年の国体の施設仕上げ、同国体完了後の同年六月十六日の新潟地震の復興計画、応急復旧の事業を終えて、後輩に道を譲ることとし、私の第二の途を選ぶため、市長に暇を戴いた。「まだ一年あるよ」と言われたが、一人で途を拓くことにして、市を辞した。爾来、港湾振興協会やその他、色々な面で渡辺市長の御厄介を戴いて旧交を埋めて来たが、時折、「齋藤君、僕も少し呑める様になったから、たまに」と誘われたこともある。でも、公式の会以外個人的の飲食はなかった。私が最後に最も残念だったのは、もう一期、渡辺さんに市長をさせたかったことだ。

最後の市長立候補は、昭和五十年四月の市長選で、當時、私はなんとか個人の企業も順調に進行し、市政批判の中で、更に一期は難中の行事と思いついてしたが、何とかという気もあり、支援を決意し、開票の当日、東中通の酒造会館の広間の一番前に会議所一員として、陣取っていた。八時〜九時頃まで渡辺陣営の前は、テレビ放送車、報道キャスター等、華々しい雑踏に、これは行けると踏んでいたが、九時〜九時半頃から報道陣等の敵陣営への移動等の現象が起き、騒がしいナーと思っているうちに、敵陣優勢の声となり、渡辺氏が落選に泣いた。

よって、新潟市政も全く趣を替えた行政の轉換となり、渡辺イズムは、表舞台から影をひそめた。だが、渡辺さんは「渡辺」として、新潟を思い、港を思い、吾々も渡辺と港を結びつけての行動の中に、彼の存在性は高く、中央においても港湾功労者として、よく動いて来てくれた。したがって、その名は永遠に光り続けるでありましょうし、また今日、国際化時代の到来の中で、新潟の存在性、先覚性は日本のさきがけを果たし、渡辺市長の歴史的功績は長く、新潟の重しとしての役割を果たしてゆくものと思ひ、偉丈夫渡辺氏の偉業を讃えてやまないものであります。

## 三浦文治先生(旧職員)

### 御逝去

昭和二十一年から三十年までの九年余新潟高校で美術を教えられた三浦文治先生が新潟から移転された神奈川県葉山の地で昨年九月逝去されました。享年八十八才。

先生は、当時「青空ボンタ」という仇名を生徒から頂戴しましたが、聞くところによりますと、よく青空を眺めておられたところからつけられたようです。これも先生の悠々閑々たる生き方を語っているのではないのでしょうか。

何よりも、青山の歴史の中で先生のお名前がさん然と輝やいているゆえんは、現在のエビ茶を地色にした校章です。昭和二十三年に制定されましたが、先生の考案によるもの

(校内幹事 板倉記)

# NHK 新潟放送局長 川上肇氏(66回) 母校で講演

新潟高校では、生徒の進路設計に役立つようにというこ  
とで、毎年各界で活躍されて  
いる方をお迎えして、一、二  
年生を対象とする進路講演会  
を開催してきた。生徒は、自  
分の将来をオーバラップさ  
せながら、これまでの講演に  
は興味深そうに耳を傾けてき  
た。本年度は、九月十三日に  
行われた。

今回の講師はNHK新潟放  
送局長の川上肇氏。本校を昭  
和三十二年卒業(66回)後、  
早稲田大学へ進まれ、昭和三十  
八年NHK入社とのこと。  
瀧澤校長の「現在最も人気  
のある職業であるマスコミ関  
係の中でも第一線級の方であ  
り、オピニオンリーダーとし  
て本県をリードする十人の  
中のお一人でいらっしゃる。  
スタジオ102・新日本紀行・  
現代の映像・NHK特集など、  
報道番組を主に担当されてこ  
られた。多くのニュース・情  
報の取捨選択における、『客



講演中の川上氏

観」とは何かを学びたい。」  
との紹介があり、いよいよ講  
演が始まった。  
演題は「浅間山荘事件から  
湾岸戦争まで」NHK入社  
以来三十年にわたるジャーナ  
リストとしてのご体験を中心  
に、「放送」とは何かという  
ことを、ユーモアを交え、約  
一時間お話し下さった。具体  
的な数字やご自身の失敗談な  
ど、聴衆をひきつける話術の  
巧みに職員も生徒も忘我の  
表情。以下はその一部である。  
☆昭和四十七年二月、浅間山  
荘事件が起こった。当日の夕  
方デイトの約束があり、局内  
が騒がしいのに気づきながら  
も夜の街へ。翌日昼頃、部屋  
のテレビで事件を知り、夕刻  
局へ馳せ参じたが、もはや部  
屋は空っぽ。完全に「蚊帳の  
外」状態となり、事件報道の  
十日間が過ぎて「針のむし  
ろ」は続いた。  
☆事件十日目の二月二十八日  
午前十時警官隊突入。午前九  
時四〇分より八時間あまりの  
放送時間に対し、平均視聴時  
間は七時間近く。視聴率も昼  
のニュースで八三・七パーセ  
ント、七時のニュースは何と、  
九八・二パーセントに達した。  
☆ところが「テレビとして他  
に伝えるべきものがあつた。」  
との反響が相次いだ。国会開  
催中であり、ニクソン米国大  
統領の中国電撃訪問のある中  
での批判の声であつた。

☆この頃から、テレビがその  
中継機能により、マスコミの  
中で上位に位置するようになって  
きた。  
(筆の稚拙さで講演の雰囲気  
をお伝えできないのが残念)  
他にも、管理職としてモー  
ニングワイド担当時の「NH  
K ロッキード事件」、ニュー  
スセンター9時の副部長時代  
の「羽田沖日航機墜落事件」、  
そして「湾岸戦争」、「天安  
門事件」など、その時々の報  
道の最前線におられた方から

でなくてはお聞きできないお  
話が続いた。  
印象に残ったのは、生徒に  
語りかけるような調子で話さ  
れた、「失敗と好運の連続だっ  
た。失敗には敗者復活のチャ  
ンスがある。変化に臆病にな  
るな。」というお言葉であつ  
た。

講演の最後に将来のメデイ  
アについて色々話された後、  
「交通手段は種々開発されて

## 猪口孝教授(70回) 新潟で講演

も、満員電車は解消できてい  
ない。利用者不在のまま、  
国や産業界が首頭をとってシ  
ナリオを書いているのではな  
いか。」との警鐘と、「ゲー  
ムでも構わない。コンピュー  
ターの端末ぐらゐは習熟して  
おくべきだ。」との指針を示  
され、拍手のうちに本年度の  
進路講演会は幕を閉じた。  
(編集部齋藤記)

昨秋の十月六日夜、青山同  
窓生の猪口孝東京大学東洋文  
化研究所教授が、「激動する  
世界と発展する新潟」と題し  
て講演を行った(於 ホテル  
新潟)。  
同教授の講演は、平成元年  
に本校の生徒に対して行われ  
たことがあつたが、この時の  
演題は「世界の中の日本」。  
その後、ベルリンの壁崩壊や  
ソ連邦解体など日本を取り巻  
く情勢が激動する一方、日本  
の政治自体も大きな変革期に

ワードで示し、安全保障・国  
際経済・国内統治について、  
明快な語り口で分析した。詳  
しい内容については、先日刊  
行した『世界変動の見方』  
(ちくま新書)のなかにも見  
られる。あとがきを読めば、  
猪口氏の学問研究への情熱と  
あたたかい人柄が感じられる  
であろう。(編集部灰野記)

ある。  
猪口氏の研究分野である政  
治の世界が大きく揺れる中で、  
氏は、「新潟での少年時代が  
自分の生き方に大きな影響を  
与えた」と説きおこし、目的  
に真直ぐに進むというよりは  
むしろ「うろろうと」日々を  
過ごす新潟人の気質が、自分  
が学問分野の研究に大いに役  
立ったと語った。  
本題では、現代世界を「冷  
戦の終焉」・「地理の終焉」  
の楽しみであります。  
(齊木 記)

## 青山ラグビークラブOB会 恒例の新年会

新春早々、一月六日(金午  
後六時より、西堀の「安兵衛」  
において、青山ラグビークラ  
ブOB会の新年会が開催され  
ました。加藤吉策会長以下大  
学でたての若いOBまで約三  
十人程の出席が有りました。  
母校からは、高崎部長、灰  
野監督が出席され、現役生徒  
の昨年度の活躍の状況、成績  
の報告が有りました。今年も  
大いに後輩たちに活躍しても  
らいたいものと、期待をして  
います。毎年この時期に開催  
されますので、お互いの近況  
を語り合い、また後輩の活躍  
の様子などを聞くことが新春  
の楽しみであります。  
(齊木 記)



# 大和田愛羅先生の ご子孫と歌うよろこび

## 44回 小池寿哉

先般村上市の有志が、「童謡を歌う列車の旅」を企画し、村上と鶴岡間を八十名の童謡唱歌を愛する人達が、歌いながら往復しました。

それは村上駅前に「汽車」の碑があり、その作曲者が村上市出身の大和田愛羅先生なので、「汽車」をもっと市民の身近なものにしようと計画されたものとききました。

ご存知のように大和田先生は、新潟中学十二回のご卒業であるばかりか、校歌の作曲者でもあります。

私も地元関川村で「童謡唱歌を歌う会」でよく歌ってましたので、心ひかれて参加しました。ところで計らずも当日は、大和田先生がお嬢さんとお孫さんもお招きして歌っておられるとおききし、欣喜雀躍——早速昼食休みに勇気を出してお目にかかりました。

この日この時まで、全く夢にも思っていなかったことでした。ご一緒に歌うことの出来た感激、素晴らしいひととき

今は山中、今は浜

今は鉄橋渡るぞと

特に復路で村上駅付近になると、繰返し繰返し到着するまで歌いつづけた大合唱は、深く強く脳裏に刻みこまれて忘れられません。

この日を機会に、時折思い出しては歌う「汽車」と共に、今迄は総会の時しか歌わなかった校歌を、改めて新しい思い出としてよみがえらせて、紅顔の美少年の頃をなつかしく

走馬燈の様にかけ巡らせながら、

玲瓏の天あふぐ時

胸颯爽の意気に充ち

と口ずさむ今日此の頃です。



村上駅前、汽車を歌う大和田愛羅さんの(子)桂マリ子さん(孫)桂幸子さん

# 新中一年の同級生二人 天皇に習されて園遊会に

## 60回 坂井丈夫

天皇、皇后両陛下が平成六年十月十九日赤坂御苑で催された秋の「園遊会」に各界功

労者(六百名)として60回の駒沢一夫君と高橋進君が御夫婦で招待された。

両君は昭和二十一年四月日新新潟中学校最後の入学生で、武田慎三郎先生ご担任の一年三組の同級生である。駒沢君

しい悲鳴というべきであろう。話は変わるが、この学級は四人の大学教授を輩出した。次の諸君である。

池田和之 浜松医科大学 醉科

岩田暁一 慶応義塾大学商学部

島田 馨 東京大学医学部 医科学研究所

高橋栄明 新潟大学医学部 整形外科

当時この六人は「梅檀は双葉より芳しかった」とは言えず、いずれもパツとしなかつた。不思議なことである。

# 第一回キリン会開催

## 60回 金塚 尚

旧制新潟中学校最後の入学生であった我々第60回生も、制度の変った新潟高校を卒業して四十二年が経過、全員が還暦を迎えたものの、まだまだ現役で活躍中である。

中学・高校と六年間お世話になったこともあって、愛校精神旺盛な我同期生は、青山総会の出席人数はいつも一位・二位を争う他、月一回の例会等なにかにつけて集まることの好きなクラスである。

此度も、キリン先生こと、大橋信夫先生をお招きして、去る10月13日、新潟市東堀通八の直直において、第二回キリン会を開催した。

青山ゴルフコンペの日程と重複したものの、在校中キリン先生に担任いただいた旧2



先生を囲んで、古きヨキ時代を夜遅くまで語り合い、次回での再開を約して散会した。当日は、「青山夢像館」編集長の佐々木城君が、参加者を代表して「秋のキリン草」と「清酒麒麟山」を「キリン先生」に贈呈した他、会の開催案内には、キリンの図柄の切手を使用する等、キリンに囲んだ一日であった。更に、「キリン会」として会場の予約をしたところ、大直さんではテッキリ「キリンビールの会」であろうと推測したとのことで、席には「キリンビール」のみが並べられていたが、仲居さんの弁によれば、先生がお見えになったら、「キリン会」であることを納得した、とのエピソードがあったことを披露する。

キリン先生と我々とは、比較的年齢が近いとはいえ、先生の若さには驚かされ、ハゲあり、白髪ありの同期生と並んでいると、どちらが先生でどちらが生徒か判らない有様であったが、先生がいつまでもこの若さを保たれることを祈念し、次回幹事の戸川君にバトンタッチして、近々に第三回キリン会を開催することを希望するものである。

私の趣味

オーストラリアで  
グライダーに挑戦

48回 林俊太郎

昭和十四年、新中グライダー部ができてから五十五年、現在に至るまで、グライダーに親しんできた。

昭和三十九年まで、新潟飛行場で新潟県航空協会のメンバーとして思存分飛びまくってきたが、新潟地震を境に飛行場が使えなくなり、その後に関東、北海道、と知人、友人を頼りに細々と飛んできた。本年七十才に達し仕事もすべてリタイヤしたのを機会に、オーストラリアで思う存分飛びたいと、友人と二人で二週間間の予定で、シドニーから西五百料にあるナイアインにある日本人経営のグライダー学校に入校、約六十回延三十時間の飛行を楽しんできた。

真夏の空、広大な小麦畑の上を将にとんびのように五百料百料と夢のような飛行、当地で一緒になった友人の堀川さんなどは七十六才の年で五百料、七百五十料の飛行に挑

て飛んできた、など冗談で笑われたが、趣味とはそんなもの、ちなみに彼はプロのパイロットで、定年後は専ら相模湾で鯛釣りにばげんでいる。ナロアインの印象は、牛肉、ワイン、ビール、は安くて且つうまい、住民も人なつこくて、親切、又行って見たい。

最後に新潟に再びグライダーというところで滑空場の開発を計画しているが、河川敷の利便について関係官庁の理解が得難く、二十年間足踏み状態だ。諸兄のご理解と御援助を期待して。

昨年春の訪問の時は解けていたアムール川は、今度は凍りかけて、川面の三分の二程に氷塊が広がっていた。11月半ばというのに最低気温がマイナス十四度、広場を吹き抜ける風邪は頬を切り裂くようだ。

観光目的ではないとはいえ、選りに選ってこの時期にと、当時の新潟ロータリークラブの会長は田村寛次郎先輩

ハバロフスク初冬

75回 加藤勝士

(62回) 幹事は小木順一郎先輩(65回)、そして私は国際奉仕委員長を仰せつかっており、この間の経緯から、擦った揉んだがありました。私共三名、ハバロフスクへ二度にわたって訪問することとなった次第。今回訪問の目的は、仮クラブとしての活動状況の視察並びに指導、そして正クラブの認証の日程の確認にあつたが、例会への出席、敷度にわたるヒヤリングを通じて彼らの熱意を直接肌を感じる事が出来た。

後輩の活躍

- 田中雄一郎君 国体でベスト16 (テニス)
- 陸上部 国体県予選 女子八百メートル一位 太田理恵
- テニス部 国体(愛媛)ベスト16 田中雄一郎
- ソフトテニス部 県高校ソフトテニス選手権大会 個人戦三位 高井・渡部組
- 剣道部 全国高校選抜大会 県大会(BSN杯) 男子団体三位、男子個人三位 笹川卓美
- フェンシング部 県高校秋季大会 男子フルール二位 原重敏、同エベ二位 千田洋平、女子フルール一位 杉本祥子、同二位 堀彩統子、男子団体三位、女子団体二位
- ラグビー部 全国高校選抜大会 県大会 三位
- 弓道同好会 全国高校選抜大会 県大会 男子団体三位
- 将棋同好会 高文連将棋大会 男子団体二位 男子個人一位 坂内直樹
- 第四十回青少年読書感想文コンクール 第一類最優秀賞 賞田村良子 第二類優秀賞 河原健太

### 平成六年度 青山三八回 例会開催報告



写真を撮り終ると、既に用意してあった宴席にそれぞれ着席した。

当日の幹事(杉垣一男)の開会の辞により開会した。早速乾杯に移る。乾杯の首頭は、当日のもう一名の幹事(藤田義一郎)により全員が用意して元氣よく乾杯した。

アルコールが少し入ったところで近藤圓氏が起立して、いささか所懐を述べたいとの発言があり第一番に発言してもらった。

記念大会の出席者が極端に少なく、近藤氏唯一名で他年次と一緒に肩身の狭い思いをしてしまったと申され、三八会ともあろうものが何たることかと叱りつけられた。皆がいかにももつともなかと恐れ入っていたが中から、「案内がこなく、知らなかつたんだから、そんなに憤慨するな」と申し開く者も出たが、今度出席者が多く出るよう努力しようとして申し合わせた。

近藤氏が済むと順番にぐるぐると一言ずつ、近況報告を兼ねて所懐を述べた。

若い頃の大意がすつかり消え、健康上苦しんでいる

現状を述べる者が多く、さながら健康相談会のようになった。が、その中から長寿への

気構えや病氣になつたらどうすればよいのか等、いろいろ参考になる面も多く良い話し合いになったと思う。

全部の者が何かかにかや所懐を開陳した。

皆が顔を揃えることが何よりも喜ばしい。話し合えば必ず得る所が大きいとつくづく感じ取られる会合であった。

来年も盛大に例会を開こうと申し合わせて、最後に近藤圓氏の音頭により皆が万歳を山唱して閉会となった。

因みに平成七年度例会の幹事は関屋俊彦氏と田村勇作氏の両名にお願いすることとなった。

以上ご報告申し上げます。

### 青山三九回 八十才の祝い

(文責は杉垣)

昨年十二月に立案、予定を弥彦の「みのや」に申入し、今年の二月一日付で同期諸兄に予告ハガキを送る。

さて、いよいよ當日、天候



一拝して再び乗車、弥彦神社に向う。菊の弥彦はなかなかの出入、神社前に、下車し参道にならべられた菊の花を賞して、社殿に上る。時節柄、盛装の女兒が両親につれられて同座している。七五三の宮詣り。

やがて神官の指図に正座して八十才の祝詞を受ける。本殿前に供えられた大鉢の菊はさすがに見事だ。

「みのや」に入り一浴して午後六時より開宴とする。地元姐さんたち五人の應援を得て八十才の老童は元氣百倍、久しぶりに聞く三味の音に往年の血は躍る。地元の選抜連だけに踊りもあざやか(岩室)に(柏崎)にお甚句がつづく。噫呼、我等青山健児も長生きしたものだ。

戦前、戦中、戦後と八十年。旧校歌を声も高らかに歌え上げる。

當日出席者左の通り。

- 野沢正一 五十嵐健治
- 池田藤三 小林義輔
- 岡崎清彦 中村 健
- 高橋新一 皆川竹次郎
- 関根 進 大塚信一
- 皆川登良夫 山下八郎
- 福山 健 計十三名

(福山記)

### 青山42期会 (昭和10年卒) 近 況

高山雄次郎

学窓を巣立ってから今年で五十九年、昨年と同じく10月18日に、今回は関東方面勢と新潟勢の出会い易い新幹線浦佐駅に集結して大湯温泉ホテル東栄館にて同期会を催す事に致しました。

昨年の岩室温泉にては、出席者十五人と云う小ぢんまりとした集まりでしたが今年はい更にレギュラーであった有田氏をはじめとして他に四人も物故者が出る有様で、いくら掘り起しても精々昨年並みと考えて居ったのですが、メて見ると誠に欣しい誤算で東京及県外より八人新潟勢十三人計二十一人と云う大盛会となりました。

当日の宴会は18時記念撮影に引続き菊地氏の司会で小生の挨拶、そして今は亡き素晴しかつた仲間達に心からなる黙禱を捧げ岡氏の乾杯の音頭で開宴、大湯温泉で最高の美人酌取りも呼んで21時の閉会

(9面へつづく)



迄延々3時間に涉り飲み且つ  
唄いニキビ時代をかえりみず  
ら話に花が咲き楽しい時間を  
過ごしました。

- 大野 総一郎
- 菊地 勲
- 神林 駒年
- 薄田 開元
- 小泉 俊平
- 高山 雄次郎
- 高橋 二一郎
- 今井 包和
- 石井 嵩
- 田中 正吾
- 桜沢 達郎
- 東城 真佐男
- 羽田 軍次
- 岡田 龍雄
- 岡 嘉一
- 今泉 景喜
- 豊岡 憲夫
- 片山 彦三
- 佐藤 政治
- 小笠原 一男
- 高橋 二一郎
- 田中正吾
- 東城真佐男



翌朝19日はバイキングで朝  
酒を飲みホテルのバスにて西  
福寺開山堂石川雲蝶の驚異的  
な彫刻を見学し続いて西福寺  
(苔寺)、永林寺の参観をし  
てお昼の会食は堀ノ内ヤナ場  
にて鮎の塩焼定食を肴に酒と  
ビールで体をほぐし、来年は  
卒業60周年と云う事で更にア  
ピールして、より盛大ならし  
めるべく互いの健康を祈り乍  
ら再会を約し14時浦佐駅にて  
解散致しました。

出席者氏名(アイウエオ順)  
石井 嵩 今泉景喜  
今井包和 薄田開元  
小武内祐治 小笠原一男  
岡 嘉一 岡田龍雄  
大野総一郎 片山彦三  
神林駒年 菊地 勲  
小泉俊平 佐藤政治  
桜沢達郎 高橋二郎  
高山雄次郎 田中正吾  
豊岡憲夫 東城真佐男  
羽田軍次

### 59期会 散見記

ときは秋。重陽の節句の翌  
日。ところは湯沢温泉ニュー  
オータニホテル。馳せ参じた



者四十六名。恩師田辺啓三先  
生と藤田久喜先生のお元気な  
お顔が心強い。ご本人が「み  
んなが俺の同期生みたいだ  
な」とおっしゃる程だ。  
新幹線を越後湯沢駅で下車  
すると「オ!!お前もこの汽車  
だったか」と三々五々交わす  
挨拶に、四十五年前の顔が  
笑っているが、ホテルへの道  
すがら「あれ誰っら?」とい  
ふかる後ろ姿には、還暦を通  
過して二年のトシが滲み出  
ている。

君、大川健君の受付を通して、  
クジ引きで相部屋が決まると  
連れ立ってひと風呂浴びる。  
さっぱりとして待つこと久し、  
午後六時より開宴。  
開会宣言。校歌斉唱、故人  
に黙禱。挨拶とセレモニー。  
遙か沖繩より遠来の板井裕君  
の首頭で乾杯。堰を切ったよ  
うに談論風発、ワンワンとは  
かり意気あがる。語り合いの  
話題は、トシ相応に高校時代  
の思い出と、孫とゴルフと健  
康術の三題斬。

会場に掲げた59期の旗の下  
で応援歌を歌い続けたあげく  
「伊佐よ、この旗最後はどう  
しんだ」「イッチ最後のモン  
が棺桶なか入れて持って来い  
や」。秋の夜は更けるのを忘  
れておりました。  
一夜明けて爽やかな朝日。  
あさびの口のあたりは実  
に宜しく、早速花井進君より  
提案あり。「来年はもうちと  
東京よりの栃木の老人保養所  
でやろうや。安いからな」。  
声ありて曰く「近くに火葬場  
あつか?」「火葬場ないけど  
ゴミ焼却場があるからメンド  
いらずだぞ」。大爆笑のうち  
に愉快な59期は、明年を約し

また、当日はホテル新潟で  
の同期会宴会に先立ち、一六  
時三〇分頃から懐かしの学び舎  
の教室をお借りし、「思い出  
の授業」二時限が開講されま  
した。二〇年前に時間旅行す  
るために会社を休んだり早退  
したりして、山岸先生の英語  
と関根先生の世界史を受講せ  
る者三〇余名。両先生の名調

子は変わらぬどころか、ます  
ます円熟味を加えており、卒  
業生の側も一言も聞き漏らす  
まいと二〇年前には見られな  
かったような真面目な態度で  
の授業風景でありました。山  
岸先生は、この日のためにわ  
ざわざ「COFFEE BR  
EAK」と題したプリントを  
用意して、ユーモアたっぷり  
(10面へつづく)

て東西へと帰路に着きました。  
新潟幹事の伊佐修君、東京幹  
事の茂泉喜彦君がとう。  
(関根彰圓記)

## 青山同窓会八二期 卒業二〇周年記念同期会 開催報告 82回 栗原道平





の授業を再現して下さいました。関根先生からは、歴史から学ぶべきことの大切さをそこはかとなく考えさせられる示唆に富んだ内容のお話をして戴き、最後は、あの伝説の小咄、「芝を刈らずに臭かった。」で締めくくられ、大爆笑と万雷の拍手のうちに二〇年ぶりの「思い出の授業」を終わりました。実行委員会ではビデオ撮影を準備しなかったことが悔やまれます。

続いてのホテル新潟宴会場では、「思い出の授業」出席者に加えて、北は北海道から南は九州まで、体型は変われ

ども懐かしい顔が続々と集まりました。瀧澤校長先生から母校の現状に就いてのお話を頂戴するあたりまでは一応秩序が保たれていたようですが、卒業以来はほんとうに二〇年ぶりで再会する者共多く、異様な熱気と興奮に包まれた会場は、ホテル新潟自慢の豪華料理もほとんど手をつけられないうちにお開きの時間となる程、どこのグループでも話が弾んでいました。卒業以来二〇年間のこれまでの生きざまが文字どおり機関銃の弾のように語られるため、場内は大変な喧噪となり、大声で話さないで聞かえないという状態。みんな普段話し相手がいないのではないかと心配になる位でした。

最後は、定番「ますらお」を高らかに唱い、五年後に二五周年同期会で再会すること

を約し、閉会致しましたが、深夜、或いは未明まで場所を変え、熱き語らいは続いていたようです。



九月十七日(土)の夜、OB 諸氏(十数名)は、それぞれの交通手段で新潟から東京から、巻機山麓の山小屋めざして集合。既にテント設営を終えた現役生と合流し、楽しい食事、思い出話、また現役生徒との交流、顧問OBとの痛飲と楽しい時をすごしました。

とOB諸氏をまじえた合同登山を計画しようではないかと、の声を産まれました。早速実行に移すのが山ヤの良き、何はともあれ集ろうと計画した次第です。先述のように、一夜楽しい語らいの翌日、それぞれの力量、年齢、酒量の差に応じて、現役生徒の後ろについて巻機山頂をめざしました。久々の山歩きの人達が多かったのですがそれぞれの目的に相応しい高度はかせいだようでした。



青山同窓会収支決算書・収支予算書

収入の部	科目	平成5年度決算額		平成6年度予算額	
		平成5年4月1日(自)	平成6年3月31日(至)	平成5年4月1日(自)	平成6年3月31日(至)
収入の部	繰越金	2,899,388		2,339,000	
	入会金	1,199,000		1,147,000	
	会費	5,532,000		3,500,000	
	雑収入	28,847		10,000	
	合計	9,659,235		6,996,000	

支出の部	科目	平成5年度決算額		平成6年度予算額	
		平成5年4月1日(自)	平成6年3月31日(至)	平成5年4月1日(自)	平成6年3月31日(至)
支出の部	人件費	1,290,200		1,200,000	
	通信費	966,359		1,300,000	
	印刷費	134,415		300,000	
	慶弔費	56,560		150,000	
	会報印刷費	535,600		700,000	
	会議費	453,756		1,150,000	
	卒業生記念品代	224,400		250,000	
	補助費	511,000		600,000	
	退職積立金	100,000		100,000	
	諸費	47,019		100,000	
	予備費	0		1,146,000	
	合計	4,319,309		6,996,000	

次年度繰越金 2,339,926円  
平成6年4月26日  
上記の通り相違ないことを確認致します。

またまた  
ホールインワン  
青山ゴルフ会

恒例の青山ゴルフ会秋の大会は、十月十三日(木)に紫雲ゴルフクラブで開催されました。参加者は二十四名で、佐渡コースよりスタートしましたが、佐渡NO3のシヨートホールにおいて、63回渡辺昌夫さんが、見事ホールインワンを達成されました。春の大会で、富山さんが、ホールインワンをしたのにつづいての快挙でした。尚優勝は66回の坪井清碩さん、準優勝は60回の斉藤邦夫さん(シニアレ

んの参加を期待しております。(藤田記)

来年は誰れの番かなと、昼のクラブハウスでは、賑やかな談笑がなされました。

渡辺昌夫さん(後日談)  
青山ゴルフ会のコンペ(十月十三日)佐渡コースNO3でホールインワンを達成することができました。ゴルフを始めた以上一度はホールインワンをしてみたいと夢見ておりましたので、十四年目で夢をかなえる事ができました。

をかなえる事ができました。パートナーの同期千種さん、75回神田さん、勝又さん、又ゴルフ会の幹事の67回石田さんはじめ皆様からご祝儀やお祝の言葉をいただき、感謝しております。

編者 山形 幸之  
印刷 土野 隆之

# ハイティーン水泳 新中・新高 20

## 60回 平田大六

### 34 高田高校プールで

「新潟県体育協会五十年史」

(一九八二)によれば、一九五〇年七月二日高体連主催第一回県高校選抜水泳大会高田高校プール、とその年表に記されている。その頃私たちはセンバツとっていたが、今は「新人戦」などといわれているようだ。

私は高校二年、この第一回はじめて高田高校のプールで泳いだ。前号で私は、新潟商高のプールは泳ぎにくいと書いたが、この高田高校のものはたいへん泳ぎやすくできていた。当時、これにまさるものはなかったと思う。それは、両側のプールサイドが広く、その奥には芝生のゆるい傾斜の観覧席がついている。そして、ここが肝心なのが、水面が高いのである。むしろ

プールサイドのほうが低いくらいだ。これは、波で生ずる余分な水を流去させるオーバーフロー装置を高くしてあるからである。これだと、観客に上からのぞきこまれてしまうような威圧感がなくのびのびと泳ぐことができた。

近年、私の地元でプール建設されるたびにこのことを云うのだが、だれも本気にきいてはくれないし、このような「理想」のプールを見たことはない。ああ。

この大会の往路に、鯨波のプラットホームでうつつした写真がある。児玉光一さん(59回)などの三年生の顔も見えている。現代のJR時刻表をみても、ホームへ降りたつてカメラをいじったりできる余裕などはない。その時代のデッキのドアが自動でなかったとしても、どうやって撮影時間を工面したのか、今は不思議な

試合は難なく、私は四百、八百ともに優勝はできた。しかし、私の頭の中には、おびえが黒い影となつてひろがっていた。それは、強敵である佐渡高校の選手たちが参加していなかったからだ。海を渡って高田までは来なかったのだ。

### 35 ライバル情報

海のみこうには強敵がいた。本間竹志監督のひきいる佐渡高校水泳部だ。後藤正幸(矩)、武田大司(長)、関川重久(背)などの超弩(ど)級選手が、私と同じ高校二年生なのだ。やがて関川は早稲田高校へスカウトされたし、私が中学三年生の時千五百メートルで大接戦をした相手も佐渡高校の選手だった。(註)

センバツの次の週につづいて開催された柏崎での全日本水泳選手権予選大会にも、「強敵」たちは参加しなかった。この時も、不気味な雲間気のなかで、私は四百、千五百に、選手権を得たけれども、その情報は、新聞で佐渡ヶ島

へも伝わったはずである。私の種目である自由型の長距離には、前述の武田(佐渡高)のほかに「強敵」はたくさんいた。滝本秀雄(高田高)竹内允(同)、青木昇(新潟商)、黒崎哲夫(柏崎工)などの練習タイムの情報がとびかっている。

やがてこの選手たちと手合せする大会がやってきた。夏休みに入るとすぐ、新潟県高等学校水上選手権大会が長岡で開かれ、私たちは前夜に宿舎入りしている。大黒善弥監督(50回)に、「前の晩ではオマエラ悪さしてしまおうから」と大会当日の朝、マムシの粉をたっぷりふりかけられたゴハンを無理に食べさせられて私たちは、悠久山プールへとおりていった。(つづく)

## 編集後記

◎ 正月、初詣での人々は、一日も早い景気回復を願っていたことと思われませう。  
◎ 東京青山同窓会で、名誉会長の斎藤英四郎(三六回)さんがお元気で挨拶されています。要旨を学内幹事がまとめました。「3つのターゲット」の完成を念願していることが健康の秘訣なのでしようか。

◎ 元新潟市長の渡辺浩太郎さん(三〇回)が亡くなられました。一緒に新潟市で活躍された、斎藤申吾さん(三四回)に追悼の思いを書いたいただきました。  
◎ 新潟市の国際交流に尽力された渡辺さんとハバロフスク、そこへ出掛けて行き、ロータリークラブを創ろうとしている新潟ロータリークラブの関係者がたまたま同窓3人と、言うのも何かの縁でしょうか、一番若い加藤勝士(七五回)さんにその辺りを書いていただきました。  
◎ 総会実行委員長の敦井栄一(六九回)さん、3年たつて目出度くその任御卒業、間に百周年記念式典などもあり、大変ご苦勞様でした。

◎ 昨年秋季に目出度く再選され、2期目に入られた、新潟市長長谷川義明(六一回)さん、おめでとうございます。新年のご挨拶をお願いしました。これからの新潟の発展に向けての、リーダーシップに大いに期待しています。  
◎ 母校では、在校生の将来の指針の参考にと、各界で活躍の方の講演を毎年行っています。昨年は同窓先輩のNHK川上局長(六六回)をお招きしました。各地で活躍の先輩の話の聞ける後輩の幸せをうれしく思います。  
◎ 新潟中学グライダーク部、大先輩林さん(四八回)に今も続いている「私の趣味」として寄稿いただきました。  
◎ 八〇才を過ぎてますますお元気な三八回、三九回の例会報告、はじめ、クラス会の報告、お集まりの方々が本当に楽しそうですね。  
◎ ご寄稿の皆さんに感謝し、楽しい会報作りを目指し頑張ります。会員のご健康、ご活躍をお祈りします。(石)







平成六年度青山同窓会会費納入者名簿

(4月より12月まで納入済みのもの)

未納の方は3月までに納入くださるようお願い致します。

1口1,000円できるだけ2口以上をお願い致します。

(郵便振替口座 00650-7-4455 青山同窓会)
(第四銀行学校町支店口座 0275210 青山同窓会)

Table with multiple columns listing names and addresses of members who have paid their dues for the 6th year of the Aoyama Alumni Association. The table is organized into several vertical columns, with names and addresses listed in a structured manner.